

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）  
令和七年三月十日発行（毎月一回十日発行）  
定価 五〇〇円

第1002号

第八十一卷

4  
月号

高知  
龍跳書道会

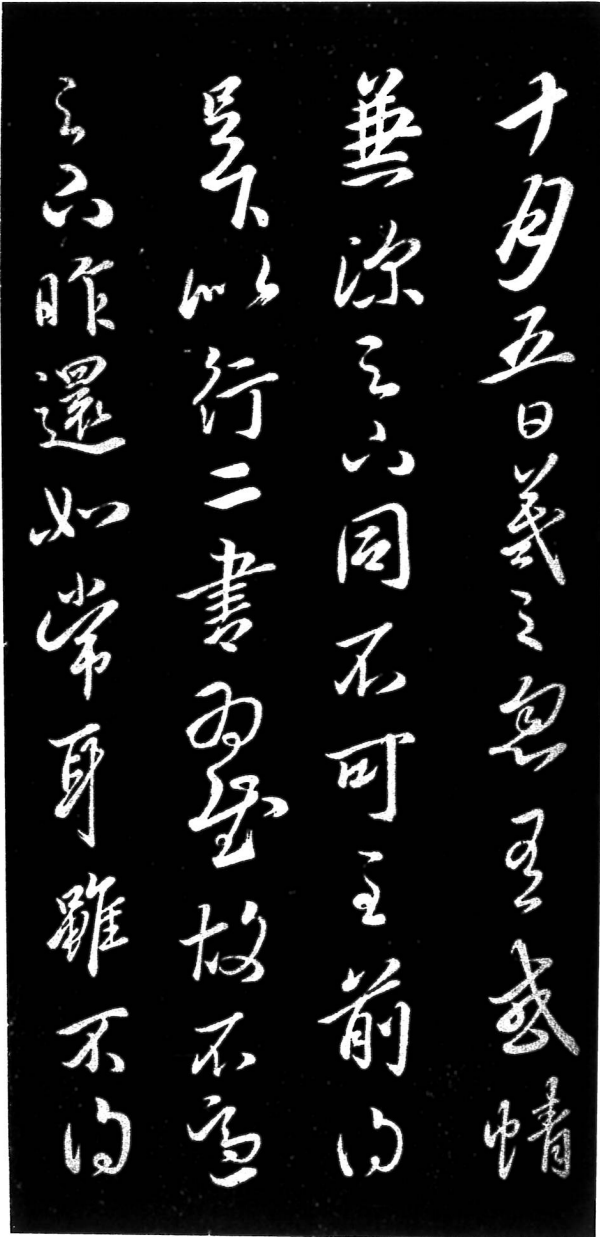
町田碧峰書



八十童子百歲少年

十月五日帖

王羲之



十月五日羲之忽有感情 / 兼深足下同不可至前得 / 足下似二書為慰故不適 / 足下昨還如常耳雖不得

十月五日、羲之忽有感情の兼ねて深き有り、足下同に至る可からず、前<sup>さき</sup>に足下の行に似たる二書を得たり、慰<sup>なぐさ</sup>と為<sup>な</sup>すも、故<sup>もと</sup>より適<sup>かな</sup>わず、足下<sup>そつか</sup>の如き耳ならん、旨問<sup>しよん</sup>を得<sup>え</sup>ずと雖も、遠<sup>とほ</sup>く足下の書を得て、輒<sup>すなり</sup>ち具問<sup>しよん</sup>するを慰<sup>な</sup>と為<sup>な</sup>す、吾<sup>わ</sup>れ頃<sup>このころ</sup>頃<sup>ころ</sup>胸中<sup>むねちゆう</sup>悪<sup>あ</sup>しく、食<sup>た</sup>するを欲<sup>ほつ</sup>せず、積日<sup>せきじつ</sup>勿<sup>な</sup>々<sup>な</sup>たり、五日<sup>いつかよ</sup>来<sup>き</sup>り少<sup>すこ</sup>しく差<sup>い</sup>ゆ、七日<sup>なつか</sup> 王羲之<sup>おうぎしちゆう</sup>之<sup>の</sup>白<sup>ちゆう</sup>す、

## 十月五日帖

## 王羲之尺牘せきとく

王羲之の生きたのは六朝時代である。

中国では、唐代以降、明代頃まで王羲之の字を集めて碑を造ることが盛んに行なわれた。尺牘とは書簡、手紙で、もともと尺は長さの単位・牘は文字のことをしるす木の札である。

すなわち長さ二尺の木簡をいう。

野島桂山書

鶯聲誘引主花下草色勾留坐水邊

鶯聲誘引  
來花下  
草色勾留  
坐水邊

桂山書

武内美仁臨

藥珠 文殊

忠圓 大日

泰忠 大日

勝行 大日

眞招 文殊

永智 小智

美仁書

梅  
川  
桂  
龍  
書

欲 暮 白 日 行

白日行はじつぎゆくゆく暮れんと欲しほ

3月20日縮切

梅  
川  
桂  
龍  
書

滄波香 難期

滄波香そうはなづかとして期きし難がたし

福  
原  
曉  
雲  
書

志  
樂  
一  
家  
春

志を樂む一家春



福  
原  
曉  
雲  
臨

十月五日  
義之

中平美峰臨

大子因緣共達法幢報  
公思德望不憚煩

美峰書

江西澄翠書

雲生火蔚龍崇現  
夕滿官松鶴並棲

澄翠書

浜崎洋堂臨

吾人其道在病之愈涼  
小生刻面之憂也

河村舟臨

河村容舟臨

公如之望其理成及  
是福得秋亦古

河村舟臨

之能致值有晋弗  
竟君道陵夷聪曜

弘田賀峰

弘田賀峰

余始與公故為僚官僕  
與琳晦為代雅以

光翠

吉永光翠

奇於宰相師任座南橫  
安一位如御史臺眾尊

野中惠花

野中惠花

即身耳神斯財乃  
福每臻大椿保

武政幽雅

武政幽雅

上固以聖人古亦之  
左面禮既之

紫秋

横田紫秋

东風吹江為花穿日照顏色相  
思人未歸日暮誰主

西山極山

西山極山

雲霧蒸患止觀妙  
門頂戴供善示知

桂華

横山桂華

欣之百字含春意得  
傍东君暖愛生

丸田宏子

丸田宏子

况乃依活神仙死崇  
家親以形未學

美佐

別役美佐

玉書過蕪山齋同曾  
念老南鳴諧和

桂旭

北村桂旭

条幅当選作品 廣末幽念 選評

★天位

弘田賀峰君 || おだやかな線で暖かい作風です。

吉永光翠君 || 吊った線できびしさが良く出ている。

野中恵花君 || 墨量多く豊かな臨。

武政幽雅君 || やわらかくよく伸びている。

横田紫秋君 || 落ちついた書きぶりで明るい。

★地位

西山極山君 || 筆が良く立ち紙面構成も良い。

横山桂華君 || 元氣一杯の力強い作品です。

丸田宏子君 || すつきりと美しい。

★人位

別役美佐君 || やわらかくてよく伸びている。

北村桂旭君 || 原帖の特徴を捉えて良く出来ている。

作品は毎月20日必着  
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

3月の審査は23日(日曜)午前9時30分に開始  
します。審査会場は**高知会館**です。

※審査会終了後、総務会を行います。

総務の方、全員の出席を望みます。

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

水山  
明紫

中学二・三年課題  
武内美仁書

中学一年課題 廣末幽念書

春江  
色山

4月20日縮切

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

学  
校  
行  
事

小学六年課題  
松崎  
緑花  
書

4月20日締切



小学五年課題

隅田 亘心 書

小春  
川の

4月20日縮切

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

川山

と

小学  
四年  
課題

弘  
田  
賀  
峰  
書

らちか

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。



小学二年課題  
水田紅子書

4月20日縮切

小学一年・ようち・ほいく課題  
大八木 洋女 書

い  
か

4月20日縮切

# 進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

学校名							
六年							
級段							
氏名							
	た	生	が	と	れ	一	
	ち	ま	生	か	る	ま	
	の	れ	ま	た	。	い	
	手	る	れ	ま	飛	の	
	か	、	る	り	行	紙	
	ら	生	。	の	機	か	
	次	ま	つ	ね	が	ら	
	々	れ	ぼ	ん	生	、	
	と	る	が	土	ま	船	
	。	。	生	か	れ	が	
		わ	ま	ら	る	生	
		た	れ	、	。	ま	
		し	る	象	ひ		

小学六年課題 江西澄翠書

学校名							
五年							
級段							
氏名							
	い	春	馬	っ	色		
	こ	花	は	と	の	つ	
	ま	は	、	見	子	や	
	れ	、	ば	る	馬	つ	
	そ	そ	ち	と	だ	や	
	う	の	り	、	。	し	
	な	美	と	目	立	た	
	気	し	ま	が	ち	毛	
	が	い	ば	合	止	な	
	し	目	た	っ	ま	み	
	た	に	き	た	っ	の	
	。	、	し	。	て	、	
		す	た	子	じ	茶	

# 進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

学校名	へ	し	か	り	楽	ある
	近	た	ら	ま	器	る
	づ	。	か	し	倉	夜
四	い	月	音	た	庫	の
年	て	は	楽	。	の	こ
級段	い	、	が	す	上	と
氏名	き	音	流	る	を	、
	ま	の	れ	と	通	月
	し	す	て	、	り	は
	た	る	き	ど	か	、
	。	方	ま	こ	か	

小学四年課題  
市原處艸書

4月20日締切



学校名						
	し	り	の	っ	き	き
	ら	の	木	た	ま	つ
三年	え	木	の	り	し	つ
	ま	で	中	の	た	つ
級段	し	、	か	お	。	き
氏名	た	かん	ら	店	き	が
	。	ば	、	で	つ	、
		ん	え	す	つ	お
		を	り	。	き	店
		こ	す	森	に	を
			ぐ	中	び	開

# 進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

がっこう	つ	う	も	て	
	て	も			春
二			雪	い	風
ねん	い	み	も	る	が
だ	る	ん		な	
きゆう	な	な	ふ		ね
なまえ			き	竹	ぼ
		こ	の	や	う
		ま	と	ぶ	し

小学二年課題  
小川理香書

がっこう				
一 ねん	い	な	と	み
	ち	か	も	ん
きゆう だ ん	ね	よ	だ	な
なまえ	ん	し	ち	
	せ			
	い			

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

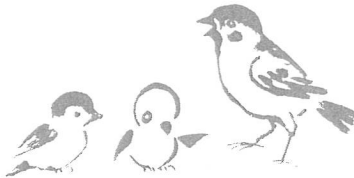
がっこう				
	つ	た	す	は
ほ ねん	く	ん	み	る
	し	ぼ	れ	が
きだ ゆう なまえ	ん	ぼ		
	ぼ			き
				た

ようち・ほいく課題  
中平美峰書

(お知らせ)

第19回香南市美術展覧会

特選	佐々木和子
褒状	大石 千施
奨励賞	小笠原廣峰
入選	水田 紅子
"	岡林 邦心
"	西山 極山
"	堀内 仁峰



【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千元

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一―七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一―三〇一

高岡郡越知町越知甲二―一七―一六

龍跳書道会 梅川桂龍



(一・二段目) 福原曉雲 選評  
澄翠君 温健正整泰然として、余裕の作。

桂園君 文字構成の中、伸び伸びと動き大で強い線です。

恵花君 今月作、やや堅さがある。しんによう「2画目カカーブ」が気になります。

千晶君 筆致流麗にして、練度高し。今後落款位置も気にして下さい。

美賀君 几帳面な作、今後、太細線文字の大小を取り入れ頑張つて下さい。

廣峰君 完璧な作です。今後、ソフトの線も入れて創作作りも見たいです。落款やや小さく。

(二・三段目) 前田秀華 選評  
理奈君 線に力強さと、大らかさがあります。

碧香君 手馴れた筆致で暢達。佳月君 清楚にして品格あり。

翠君 軽快にして落ち着いた作。紫秋君 骨格のしつかりした作品。

(三・四段目) 武内美仁 選評  
美邦君 バランス良く丁寧にかけています。

美草君 澄みきつた線がよく伸び佳作。

美香君 字々明るく、力みなく良くまとめている。

恵美君 沈着にて軟らかく、安定している。

房君 明るくよく筆が動いている。知加君 堂々とした作。字々の姿勢が素晴らし。

(四段目) 武内美仁 選評  
千賀君 軽妙な筆致で楽しい作。

美知子君 粘り強く筆圧もよく利いている。

俊二君 強い線で好感がもてる。

秋深紅

茶都翠子

薄莫嫵

趣勃翠子

詭乃利陽

苑之芳

詞筆翠子

郡响忍

令張太子

薄草嫵

趣勃修子

羨景恣

觀賞太子

滋物不修子

揮之望修子

詞筆翠子

未敢

有失注

旨大女

挑斐仁陽

同曾絲

彦甫沖秋

旅食許太子

羨景恣太子

觀賞太子

綜賢孝

之性根太子

一心斯

有恒利陽

歌吹簫

調絃太子

教報太子

薄莫嫵太子

趣勃太子

結纓

殉國虎之介

(一・二段目) 梅川桂龍 選評  
綠堂君 筆、自在に躍動して敬服。  
里華君 筆、リズミカルな運筆で線も深

桂園君 筆、先鋭敏で落款も上手い。  
恵子君 紙面明るく趣あり。  
仁子君 線質清澄、余白また生きて

宏子君 力もなく忠実な臨で好感の作。

(二・三段目) 野島桂山 選評  
碧香君 勢いよく伸びてバランスも  
良い。  
悠道君 筆圧よく効き線もよく章法

もよい。  
翠 君 伸び伸びとして作品に変化  
あつて面白い。

淳 君 切れ味よく明るい。  
仁陽君 気負なく温和な作。  
(三・四段目) 西山極山 選評  
伸枝君 のびのある線できよくまと

ている。  
明美君 一字一字よく書けている。  
美枝君 動き大きく躍動感を感じる。

美香君 特徴を良くとらえている。  
利恵君 堂々とした作品。この調子  
で。  
恵美君 丁寧な運筆できよくまと

めている。  
(四段目) 西山極山 選評  
千賀君 温もりのある線できよく

します。  
志津君 しっかりと書きぶり、  
五文字良くまとめている。

虎之介君 いていねいな書きぶり、  
「纓」の字少し大きいか  
な。

少年時代 <small>六年 押田 風住</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>
少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>
少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>
少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>	少年時代 <small>六年 藤島 菜花</small>

(一段目) 中学部  
 菜奈君 伸びやかに書いて下さい。  
 風葵君 ねいにねいに書いています。  
 乙羽君 元気に書いています。  
 (二一段目) 小学六年  
 陽菜君 ねいな作品です。  
 綜 君 落ち着いて書いて良い。  
 仁貴君 落ちついて書いて、明るい作品です。  
 嘉奈子君 しっかり書いて良い。  
 来夢君 どっしりとした作品です。  
 美結君 ゆつたりと書いて良い。  
 (二・三・四段目) 小学五年  
 リサ君 明るく良くまとめている。  
 菜乃君 落ちついてのびやか。  
 百叶君 力強く堂々としています。  
 改太君 良くまとめている。  
 香月君 真面目によく勉強できています。  
 桜心君 よくまとめているが、もう少し力強く。  
 さくら子君 強い線で元気いっぱい。  
 倅空君 最後まで力をぬかないで。  
 陽南子君 のびやかで明るい。  
 璃音君 力強いが体でいっぱい書いて下さい。  
 拓海君 もう少しゆつくり書いて下さい。  
 蒼菜君 紙面いっぱいによくまとめました。  
 こころ君 ねいに堂々と書いています。  
 (四段目) 小学四年  
 奥堂皓月 選評  
 実咲君 堂々としてよくまとまっています。

佐々木港花 選評

岡林邦心 選評

深瀬緑堂 選評



春を待つ  
蒼來君 四年  
美緒音君 四年  
聖住君 四年  
蒼馬君 四年  
明利君 四年  
ほの花君 四年  
芳直君 四年  
心遙君 四年  
梨衣奈君 四年  
郁奈君 四年  
一莉君 四年  
(一・二段目) 小学四年

春を待つ  
小川の  
まだる  
そら  
河村容舟 選評

春を待つ  
小川の  
まだる  
そら  
河村容舟 選評

春を待つ  
小川の  
まだる  
そら  
河村容舟 選評

春を待つ  
小川の  
まだる  
そら  
河村容舟 選評

春を待つ  
小川の  
まだる  
そら  
河村容舟 選評

(一・二段目) 小学四年  
蒼來君 〓 明るくびのびと元気に書いています。  
莉李君 〓 明るくざわやかに書いています。  
美緒音君 〓 明るく力強いです。  
聖住君 〓 元氣よく力強いです。  
蒼馬君 〓 まじめに書いています。  
明利君 〓 のびやかで整っています。  
ほの花君 〓 すなおに書いています。  
(二・三段目) 小学三年  
芳直君 〓 明るくいいねいに書いています。  
心遙君 〓 力強くよくまとめて書いてます。  
梨衣奈君 〓 元氣よく形もよくとれています。  
郁奈君 〓 いいねいに書いて良い。  
一莉君 〓 まじめに書きました。  
(三・四段目) 小学二年  
涼 君 〓 いいねいに堂々と書きました。  
はるか君 〓 力強く書きました。  
連太郎君 〓 元氣に書きました。線の終わりに気をつけ  
て。  
依吹君 〓 のびのびと書いています。  
かほ君 〓 元氣いっばいに書いています。  
みのり君 〓 落ちついて良く書いています。  
(四段目) 小学二年・ようちん・ほいく  
ゆま君 〓 いいねいにかけています。  
かほ君 〓 げんきよくかけています。  
とうい君 〓 がんばつてかけています。  
こな君 〓 よくかけています。  
あおい君 〓 ちからいっばいにかけています。

多ノ郷 森光 陽菜  
浦ノ内 矢野 蒼真

ボケッ卜の中にビー玉五つ  
亮はときどきそれにさわる。  
ビー玉は転がると、閉じこめ  
られた色のかけらが代わる代  
わる現れて、あ、という間に  
差しこむ光にとけていく。  
……多ノ郷六神特、森光陽菜

ボケッ卜の中にビー玉五つ  
亮はときどきそれにさわる。  
ビー玉は転がると、閉じこめ  
られた色のかけらが代わる代  
わる現れて、あ、という間に  
差しこむ光にとけていく。  
……浦ノ内六特、矢野蒼真

ボケッ卜の中にビー玉五つ  
亮はときどきそれにさわる。  
ビー玉は転がると、閉じこめ  
られた色のかけらが代わる代  
わる現れて、あ、という間に  
差しこむ光にとけていく。  
……久礼六九、浦田奏

ボケッ卜の中にビー玉五つ  
亮はときどきそれにさわる。  
ビー玉は転がると、閉じこめ  
られた色のかけらが代わる代  
わる現れて、あ、という間に  
差しこむ光にとけていく。  
……長岡六八、高芝仁貴

久礼 濱田 奏  
長岡 高芝 仁貴

越知 大原 留心  
多ノ郷 大城 リサ

ボケッ卜の中にビー玉五つ  
亮はときどきそれにさわる。  
ビー玉は転がると、閉じこめ  
られた色のかけらが代わる代  
わる現れて、あ、という間に  
差しこむ光にとけていく。  
……越知六七、大原留心

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方や考え方  
にえいぎょうをあたまました。  
……多ノ郷五九、大城リサ

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方や考え方  
にえいぎょうをあたまました。  
……附小五八、江頭咲良

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方や考え方  
にえいぎょうをあたまました。  
……長岡五七、北村さくら子

附属 江頭 咲良  
長岡 北村さくら子

浦ノ内 森田 葵  
浦ノ内 山本 彩喜

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方や考え方  
にえいぎょうをあたまました。  
……浦ノ内五八、森田葵

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方や考え方  
にえいぎょうをあたまました。  
……浦ノ内五五、山本彩喜

ヤドカリとイソギンチ  
クの関係を研究してい  
るロス博士は、ヤドカリ  
とイソギンチクがどの  
ようにしていっしょにな  
るのか、観察しました。  
……長岡小四八、森田 葵

ヤドカリとイソギンチ  
クの関係を研究してい  
るロス博士は、ヤドカリ  
とイソギンチクがどの  
ようにしていっしょにな  
るのか、観察しました。  
……小高坂四七、川西康介

長岡 森田 葵  
小高坂 川西 康介

須崎 津野 聖佳  
大谷北 大木 陽智

ヤドカリとイソギンチ  
クの関係を研究してい  
るロス博士は、ヤドカリ  
とイソギンチクがどの  
ようにしていっしょにな  
るのか、観察しました。  
……須崎 四一五、津野 聖佳

ヤドカリとイソギンチ  
クの関係を研究してい  
るロス博士は、ヤドカリ  
とイソギンチクがどの  
ようにしていっしょにな  
るのか、観察しました。  
……天谷北四二、大木陽智

ヤドカリとイソギンチ  
クの関係を研究してい  
るロス博士は、ヤドカリ  
とイソギンチクがどの  
ようにしていっしょにな  
るのか、観察しました。  
……池川小四、初、北村日知

夏になると、庭や公園  
のすみなどで、ありの行  
列を見かけることがあります。  
まず、行列は、ありの巣  
から、えさのある所まで  
つづいていきます。  
……須崎 三六、毛利 香花

池川 北村 日和  
須崎 毛利 香花

須崎 田村 紗雪  
浦ノ内 池田 理人

夏になると、庭や公園のすみななどで、ありの行列を見かけることがあります。行列は、ありの巣から、えさのある所までつづいています。

須崎 二・五〇 田村 紗雪

夏になると、庭や公園のすみななどで、ありの行列を見かけることがあります。行列は、ありの巣から、えさのある所までつづいています。

浦ノ内 三・四〇 池田 理人

夏になると、庭や公園のすみななどで、ありの行列を見かけることがあります。行列は、ありの巣から、えさのある所までつづいています。

須崎 三・三〇 藤崎 華乃

夏になると、庭や公園のすみななどで、ありの行列を見かけることがあります。行列は、ありの巣から、えさのある所までつづいています。

久礼 三・二〇 初崎 黒原 小春

越知 藤崎 華乃  
久礼 黒原 小春

すさき 金堂 涼  
上分 吉村はるか

そう、と水の中をのぞきこみました。池の水がきらきら光って、ふたりの顔がうつりました。

すさき 二・四〇 金堂 涼

そう、と水の中をのぞきこみました。池の水がきらきら光って、ふたりの顔がうつりました。

上分 二・三〇 吉村はるか

そう、と水の中をのぞきこみました。池の水がきらきら光って、ふたりの顔がうつりました。

久礼 二・二〇 黒原 りか

そう、と水の中をのぞきこみました。池の水がきらきら光って、ふたりの顔がうつりました。

おうち 二・一〇 中司 みのり

久礼 黒原 りか  
おうち 中司 みのり

久礼 下谷 こと春  
あそう まつさかのぞみ

そう、と水の中をのぞきこみました。池の水がきらきら光って、ふたりの顔がうつりました。

久礼 二・一〇 下谷 こと春

子どもたちが、ふうせんに、花のたねをつけて、とばしました。

あそう 一・二〇 まつさかのぞみ

子どもたちが、ふうせんに、花のたねをつけて、とばしました。

多しろう 一・一〇 さか本みさき

子どもたちが、ふうせんに、花のたねをつけて、とばしました。

うらノ内 一・一〇 吉おかまひろ

多しろう さか本みさき  
うらノ内 吉おかまひろ

うらノ内 みや田 い音  
うらノ内 てら内かのん

子どもたちが、ふうせんに、花のたねをつけて、とばしました。

うらノ内 一・一〇 みや田 い音

子どもたちが、ふうせんに、花のたねをつけて、とばしました。

うらノ内 一・一〇 てら内かのん

かもの おやこが、おやくりと、およいでいます。

すさき 二・一〇 こんどう こな

かもの おやこが、おやくりと、およいでいます。

の だ 二・一〇 まつぎ あおい

すさき こんどう こな  
の だ まつぎ あおい



出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。  
★臨書は出典名を記入のこと。

随意

審査 梅川 桂龍

★師範

★準師範

深瀬緑堂 岩河里華 大原桂園 矢野峰臣 岡林明心 西山極心 江西澄翠 弘田賀峰 野中恵花 中平幸仙 河村容舟 濱崎洋堂 奥堂皓月 中平美峰 水田紅子 萩野羽花

門田恵子 西内仁子 丸田宏子 横山桂華 吉田深美 北村桂旭 池芳春 大平圭子 岩崎竹山 小野山美喜

大崎紫陽

藤原朱鳳

橋本祝子

戸田孝北

田村和子

西森令泉

山本恵歩

田村眉州

氏原美代子

山中紅風

森光望春

高橋桜芳

松浦明子

窪田碧泉

高橋朱鳥

大野美賀

別役美佐

山西春佐

桑原智子

平井桂草

山川百合

西村芳香

田中恵風

審査 野島 桂山

★六段

坂本碧香 伊吹悠道 岩村祥 浪上理奈 下元玉泉 岩谷紅花

★五段

岡林翠

大井淳

濱田幸子

鈴木輝代

★四段

西岡仁陽

濱田順子

中澤英子

岡本薫山

高橋翠園

西森啓助

審査 西山 極山

★三段

坪内倫子

★二段

林隆光

森澤美佑貴

★初段

前田伸枝

西尾明美

松坂美枝

市川美香

(出品票)

のり代

7年 4月 4日

氏名

臨書は出典名

第89回毛筆成績

○印は昇級

毛筆五年

審査 深瀬 緑堂

★九段

多ノ郷 大城リサ

★八段

須崎 松田菜乃

★七段

長岡 宮脇改太

池川 鶴井香月

上分 谷口桜心

★六段

長岡北村さくら子

岡豊 島村倅空

多ノ郷 橋田天河

★五段

長岡 竹内陽南子

上分 田邊璃音

須崎 柳田拓海

上分 柳稀衣

中学部

審査 佐々木港花

二年

★特待生

朝ヶ丘 橋田茉奈

一年

★九段

鷹ヶ池 安井風葵

★八段

池川 藤原乙羽

小学部

毛筆六年

審査 岡林 邦心

★特待生

多ノ郷 森光陽菜

新莊 鍋島 綜

★九段

長岡 押岡風佳

★八段

長岡 高芝仁貴

長岡 二宮嘉奈子

上分 朝比奈来夢

★六段

上分 弘田美結

上分 須崎

上分 柳稀衣

# 第696回硬筆成績

○印は昇級

<p>★四段 吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所萌羽</p> <p>★三段 岡豊 中司こころ</p> <p><b>毛筆四年</b></p> <p>審査 奥堂 皓月</p> <p>★八段 長岡 森田実咲</p> <p>★七段 小高坂 川西康介</p> <p>★六段 夜須 西村朝陽</p> <p>★五段 吾桑 高橋蒼來 須崎 金堂莉李 吾桑 松坂美緒音 須崎 津野聖佳 佐古 田村健悟</p> <p>★三段 吾桑 吉門蒼馬</p>	<p>★二段 長岡 西内明利 吾桑 宮崎穂花 長岡 小笠原湊 夜須 清藤 蘭</p> <p>★二級 上分 中山結愛</p> <p><b>毛筆三年</b></p> <p>審査 河村 容舟</p> <p>★六段 須崎 毛利香花</p> <p>★五段 浦ノ内 正木芳尚 須崎 田村紗雪</p> <p>★四段 上分 梅原未來</p> <p>★三段 岡豊 島村心遙 多ノ郷 太田朋希 長岡 竹内伽菜心 長岡 押岡息吹</p>	<p>★二段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太</p> <p>★初段 吾桑 長山優奈 越知 藤崎華乃</p> <p>★一級 長岡 澤村郁菜</p> <p>★七級 夜須 ○白石一莉 夜須 ○白石一華</p> <p><b>もうひつ二年</b></p> <p>審査 佐竹 江月</p> <p>★四段 須崎 金堂 涼</p> <p>★三段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光連太郎</p> <p>★二段 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ 上分 はし田一か</p>	<p>しんじよう 中じまあやと</p> <p>★初段 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇牙 朝倉 根口心花</p> <p>★二級 馬路 ○小松時生</p> <p>★九級 長岡 ○大塚もも</p> <p><b>もうひつ一年</b></p> <p>審査 別役 美佐</p> <p>★二段 吾桑 松坂望未</p> <p>★一級 吾桑 梅原由菜</p>	<p><b>もうひつ</b> ようち・ほいく</p> <p>審査 別役 美佐</p> <p>★初段 上分 なかじまゆいと</p> <p>★一級 須崎 こんどうこな</p> <p>★三級 池川 ○鶴井遥郁</p> <p>★七級 野田 ○まつぎあおい</p> <p>★十級 おひさま ○森光莉菜</p>	<p><b>硬筆十八年</b> こうひつ</p> <p>審査 江西 澄翠</p> <p>★特待生 多ノ郷 森光陽菜 浦ノ内 矢野蒼真 新莊 鍋島 綜</p> <p>★九段 久礼 濱田 奏 長岡 押岡風佳</p> <p>★八段 長岡 高芝仁貴 上分 朝比奈来夢</p> <p>★七段 越知 大原瑠心 藤沢 駒崎愛恵 長岡 二宮嘉奈子 上分 弘田美結</p>	<p>★四段 城東 持田和花 須崎 川西桜空 大谷北 大木柚杏 大谷北 山崎流依 須崎 川西蒼空</p> <p>★四段 須崎 川西蒼空</p> <p><b>硬筆五年</b> こうひつ</p> <p>審査 森本 寿山</p> <p>★九段 多ノ郷 大城リサ 上分 梅原百叶 多ノ郷 松浦結菜</p> <p>★八段 附属 江頭咲良 須崎 松田菜乃 上分 小松希美</p> <p>★七段 長岡北村 さくら子 浦ノ内 松山 翔 長岡 宮脇改太</p>
--	---	--	--	---	---	---

(出品票)

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代	7年 4月 規定	地名	須崎 谷口桜心 浦ノ内 美島希以花 長岡 竹内陽南子 久礼 窪田茉優 久礼 森岡 虹
氏名	藤沢 駒崎信慈	★二級	★六段
段級	★四段	★五段	★初段
のり代	7年 4月 随	臨は出典名	須崎 谷口桜心 浦ノ内 中田湖音 ★二級
氏名	越知 西森優奈	夜須 吾桑 佐古 吾桑 夜須 吾桑	浦ノ内 中田湖音 ★二級
段級	★四段	★二級	★初段
のり代	7年 4月 随	臨は出典名	浦ノ内 中平澤里 ★三段
氏名	久礼 日林ゆあ 松山愛凜	久礼 〇西村波琉	浦ノ内 中平澤里 ★三段
段級	★二級	★二級	★初段
のり代	7年 4月 随	臨は出典名	浦ノ内 池田理人 ★二級
氏名	多ノ郷 高橋依吹 多ノ郷 光連太郎	久礼 〇西村波琉	浦ノ内 池田理人 ★二級
段級	★二級	★二級	★初段
のり代	7年 4月 随	臨は出典名	浦ノ内 池田理人 ★二級
氏名	多ノ郷 高橋依吹 多ノ郷 光連太郎	久礼 〇西村波琉	浦ノ内 池田理人 ★二級
段級	★二級	★二級	★初段

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙  
書道用具萬般乞来店

(株) 818 百 齋

高知市南宝永町14-18  
TEL (代) (882) 1394番  
夜間・TEL (882) 1392番

★二級 久礼 黒原李香 上分 はし田一か 加茂 山岡瑞季 朝倉 根口心花 しんじょう 中じまあやと 浦ノ内 岡林結花 浦ノ内 徳永車斗 ★初段 岡豊 中司みのり 久礼 下谷琴春 久礼 政岡有美 池川 伊藤日向 池川 安井颯 池川 片岡紗雪 池川 上村心晴 池川 北村心暖 ★一級 久礼 小林奈穂 岡豊 島村昇苒 奈路 植野葵 長岡金堂 こうすけ 吾桑 鈴木花 ★二級 久礼 〇岩瀬 涉	★三級 上加 〇大内ゆずの ★四級 久礼 〇加茂みやび 久礼 〇近藤みのり 吾桑 〇堅田彩乃 ★五級 吾桑 〇宮崎陽香 ★六級 長岡 〇村上こゆ 大谷北 〇倉持百花 馬路 〇木下魁人 ★七級 城東 〇丸山颯士 ★九級 長岡 〇大塚もも	こうひつ一年 審査 石川 美水 ★三段 吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由菜 ★二段 多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内 吉岡まひろ ★初段 浦ノ内 宮田い音 附属 江頭航 浦ノ内 中平湧大 ★一級 久礼 森岡 紅	★六級 岡豊 〇おぎかお ★九級 上分 〇橋田果歩 ★十級 岡豊 〇三谷とうい こうひつ ようち・ほいく 審査 石川 美水 ★初段 上分 なかじまゆいと ★二級 須崎 こんどうこな ★八級 野田 〇まつぎあおい おひさま 〇森光莉菜	★九級 おひさま 〇もりみつるな
---	--	--	---	------------------------

中国文房四宝  
 国産書道用品  
 久保田号銘筆

**有限会社 尚筆堂**

〒780-0818 高知市宝永町3-3  
 TEL (088) 882-1454  
 FAX (088) 884-7413



(出品票)

のり代	
7年 4月 毛筆	
校名	学年
保年	氏名
段	級

(お知らせ)

★第70回 須崎市展

会期・令和七年五月十五日(木)

～五月二十日(火)

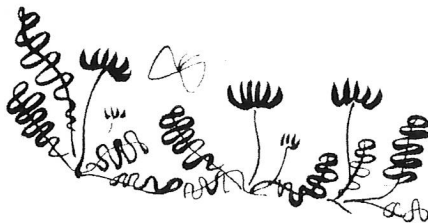
午前九時～午後五時

(最終日は午後三時まで)

搬入日時・五月十一日(日)

午前九時～正午まで

のり代	
7年 4月 硬筆	
校名	学年
保年	氏名
段	級



# 春季昇段級試験合格者

三月二日審査

師範・準師範・特待生になられた方は、顔写真とあいさつ文(簡潔に)を三月二十三日、審査日迄に本部に届けて下さい。

※合格者氏名はすべて順不同です。

<p>★五段 岡本美水</p>	<p>★六段 大井 淳</p>	<p><b>第一部</b></p>	<p>準師範 松本世津 今井真理 坂本碧香</p>	<p>師 範 小笠原廣峰 戸田孝北</p>
<p>★初段 川口虎之介</p>	<p>★初段 久保可奈 川内みさ 鶴井未来</p>	<p><b>第二部</b></p>	<p>★二段 西村百花 金子知加 川下久遠</p>	<p>★四段 杉本美邦</p>
<p>★九段 朝比奈来夢</p>	<p>★特待生 押岡風佳</p>	<p>毛筆六年</p>	<p><b>小学部</b></p>	<p>★九段 藤原乙羽</p>
<p>★七段 高芝仁貴 二宮嘉奈子</p>	<p>★七段 弘田美結</p>	<p>毛筆五年</p>	<p>★八段 松田菜乃 梅原百叶</p>	<p>★九段 鶴井香月 宮脇改太 谷口桜心 小松希美</p>
<p>★五段 梅原蒼葉 田所萌羽</p>	<p>★四段 中司こころ</p>	<p>毛筆四年</p>	<p>★九段 森田実咲</p>	<p>★七段 北村さくら子 島村倅空 橋田天冴</p>
<p>★四段 吉門蒼馬</p>	<p>★三段 小笠原 湊 西内明利 清藤 蘭 宮崎穂花</p>	<p>毛筆三年</p>	<p>★七段 毛利香花 西村太希</p>	<p>★六段 津野聖佳 金堂莉李 小松太緒 松坂美緒音 高橋蒼來 田村健悟</p>
<p>★四段 島村心遙 押岡息吹 竹内伽菜心</p>	<p>★二段 宮脇治太 森光梨衣奈</p>	<p>★初段 澤村郁菜</p>	<p>★五段 金堂 涼</p>	<p>★六段 正木芳尚 田村紗雪</p>
<p>★三段 藤崎華乃 長山優奈</p>	<p>★二段 中山結愛</p>	<p>★初段 中山結愛</p>	<p>もうひとつ二年</p>	<p>★四段 森光連太郎 吉村はるか</p>
<p>★三段 高橋依吹 橋田かほ</p>	<p>★初段 高橋依吹 橋田かほ</p>	<p>★初段 高橋依吹 橋田かほ</p>	<p>★三段 なかじまあやと</p>	<p>★初段 なかじまあやと</p>

<p>★二段 はし田一か</p> <p>中司みのり 島村昇河 根口心花</p> <p>★初段 小松時生</p>	<p>★二段 こうひつ 硬筆六年</p> <p>★特待生 濱田 奏 押岡風佳</p> <p>★九段 朝比奈来夢 高芝仁貴 牛窓環菜</p>	<p>★二段 こうひつ 硬筆五年</p> <p>★特待生 大城リサ 梅原百叶 松浦結菜</p> <p>★九段 小松希美 松田菜乃 江頭咲良</p>	<p>★六段 田村拓海 山本彩喜 政岡桃加 梅原蒼菜</p> <p>★五段 久保田健介 島村倅空 岩田愛菜 須賀勇介 中司こころ</p> <p>★四段 後藤 樹 田所萌羽</p> <p>★三段 中田瑚音</p> <p>★二段 高橋芽生奈</p> <p>★初段 堅田有咲</p>	<p>★九段 こうひつ 硬筆四年</p> <p>★九段 森田実咲</p> <p>★八段 西村朝陽</p> <p>★六段 金堂莉李 こも田こも音 松坂美緒香 田村健悟 高橋蒼來 米澤陽翔 清藤 蘭 津野聖佳</p> <p>★五段 中平滯里 黒原小夏 西森優奈</p> <p>★四段 吉門蒼馬 木下歌乃 宮崎ほか 笹岡玲斗</p>	<p>★三段 大木陽智 小笠原湊 笹岡蒼馬 西内明利</p> <p>★二段 片岡亜季紗 北村日和 大原穂乃花</p> <p>★初段 中山結愛 堀田瑛太 植野 新 西村はる</p> <p>こうひつ 硬筆三年</p> <p>★七段 正木芳尚</p> <p>★六段 田村紗雪</p> <p>★五段 池田理人 藤田彩葉</p>	<p>★四段 島村心遥 押岡息吹 みやわきはるた 竹内かなこ 森光梨衣奈 藤崎華乃 梅原未來 太田朋希 坂本大和</p> <p>★三段 片山ひまり 吉原綾人 日林ゆあ まつ山まりん 長山優奈</p> <p>★二段 黒原小春 ふじさきなお 白石一華 白石一莉</p> <p>★初段 澤村郁菜 森田海音</p>	<p>★二段 中司みのり 島村昇河 根口心花</p> <p>★初段 小松時生</p> <p>もうひつ一年</p> <p>★三段 松坂望未</p> <p>★初段 梅原由菜</p> <p>もうひつ ようち・ほいく</p> <p>★二段 なかじまゆいと</p> <p>★初段 こんどうこな</p>	<p>★五段 川西蒼空 川西桜空 浅野由梨</p> <p>★六段 山崎流依 大木柚杏 持田和花</p> <p>★八段 駒崎愛恵 大原瑠心 弘田美結 二宮かな子</p>	<p>★七段 橋田天河 片岡杏璃 森田 葵</p> <p>★八段 美島希以花 松山 翔 谷口桜心 宮脇改太 窪田茉優 北村さくら子 竹内ひなこ 森岡 虹 田邊璃音</p>
---	---	---	--	---	---	---	---	---	---

こうひつ二年

★五段

金堂 涼

★四段

吉村はるか  
森光連太郎  
はしたかほ  
たかはしいぶき

★三段

根口心花  
徳永隼斗  
山岡みずき  
岡林ゆい花  
中しまあやと  
はし田いちか  
黒原りか

★二段

中司みのり  
安井そう  
まさおかゆみ  
下谷こと春  
片岡紗雪  
伊藤日向  
北村心暖  
上村しんば

★初段

島村昇海  
こんどうこうすけ  
うえのあおい  
政岡そうし  
木村成と  
小林なほ  
岩瀬 渉  
すず木花

★五級

まる山はやと

こうひつ一年

★四段

うめばらゆま  
まつさかのぞみ

★三段

吉岡まひろ  
さか本みさき

★二段

えがしらこう  
中平ゆう大  
みや田い音

★初段

もりおかべに  
寺内かのん

★一級

いの上めい

こうひつ  
ようち・ほいく

★二段

なかじまゆいと

★初段

こんどうこな  
ごとうかずは

春季昇段試験担当

【集約係】

西山極山  
山西春草  
別役美佐

【展示係】

野島桂山  
浜崎洋堂

【集計係】

森光望春  
大原桂園  
堅田清園

【会計係】

隅田亘心

【審査員】

◎印は責任者

◎師範の部

○福原暁雲  
梅川桂龍  
前田秀華  
廣末幽念  
大八木洋女  
武内美仁

◎第一部

○福原暁雲  
前田秀華  
廣末幽念  
武内美仁  
大八木洋女

◎第二部

○西山極山  
岡林邦心

◎学童毛筆

中学〜小学五年

○岩河里華  
深瀬緑堂

小学四年〜保育

○中平美峰  
河村容舟

◎学童硬筆

六年・五年

○江西澄翠  
小川理香  
西村さゆり

四年・三年

○森本寿山  
市原処艸

二年・一年  
保育・幼稚

○野中恵花  
石川美水

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先  
「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳誌部  
〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

01690-3-31925

電話（〇八八九）三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話（〇八八七）二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七―〇七二一番

練成会へのお誘い

寒さも少しずつ和らぎ、過ごしやすくなってきました。

春季昇段試験も無事終わりました。昨年来より受験者が非常に少なくなり寂しく感じております。本号で試験結果が発表されていますが、受験された皆様は悲喜こもごもと思います。現段級に留まられた方も、また挑戦していただきたいと思えます。やはり月例審査で条幅部の上位におられる方は、今回の試験でも高評価であり、日々の練習が大事だと感じました。

さて、作品の作り方は人それぞれですが、龍跳の練成会に参加してみませんか。用筆法や作品の構成、また用具・用材の知識等を学ぶには良い機会になり、同好の士より優しくご指導いただけます。そのうえ、役員等の書きぶりが間近で見られ、書友の輪も広がることと思います。今まで参加されていない方や、迷っておられる方も是非ご検討ください。なお、開催日程は本誌3月号の「令和7年度事業計画予定表」に掲載されています。また、それぞれの教室やご希望の場所での練成会も検討中です。・・ご意見をお聞かせください。

# 月例競書課題

保 育	一年	二年	三年	四年	五年	小学六年	一年	二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部 別
	い か み ち	ふ じ あ ゆ	ち か ら 人 形	山 と 川 夕 ぐ れ	春 の 小 川 五 月 の 空	学 校 行 事 ペ ン 習 字	江 山 春 色 田 園 都 市	山 紫 水 明 海 流 黒 潮	任 意 任 意	滄 波 杳 難 期 吳 洲 好 見 月	任 意 任 意	縮 切 日	
												四月二十日 縮切	五月二十日 縮切

## 会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10～)  
(幸便搬送の方は送料不要)

(A)	1冊	180円
(B)	2冊～7冊	210円
(C)	8冊～20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

- 21冊                    C + A = 610円 × 月数
- 22冊～27冊        C + B = 640円 × 月数
- 28冊～40冊        C × 2 = 860円 × 月数
- 50冊の場合        C × 3 = 1,290円 × 月数

◎会費と龍跳誌送料は原則として半年分または1年前納のこと。

◎送金は次の何れかへ  
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心  
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分  
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室  
福原 暁雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人  
福原 暁雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一六五〇

発行所  
龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一六五〇

印刷所  
(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南門市片山四九〇

西山極山宛

電話 (〇八八) 860518857